

平成 29 年度 相愛高等学校 3 年 普通科特進コース シラバス

教科	科目	週時数	年間予定時数	選択等	担当教員
宗教	宗教	1	35	必修	安藤 千珠

到達目標等

到達目標	宗教に関して単に知識をつめこむのではなく、自ら学び、自ら考える力を育みます。自分自身をしっかりと見つめ直し、より充実した生き方を追及できるように学習します。また、学校生活における生徒間のかかわりの中から、感謝の気持ちと、思いやりの心を身につけ、心豊かな宗教的情操を育むことを目標とします。 3 学年の宗教では、浄土真宗を開かれた宗祖親鸞聖人の生涯を学びます。聖人の生涯を通じて、人生に対する考え方の中で「生きる意味とその方向性」を見つめ直していきます。また、仏教の思想を総復習し、生命倫理における課題について学ぶ中で、それぞれの課題について問題意識と自分の考えをまとめる。
教科書	『見真』
副教材	聖典聖歌・日々の糧
評価方法	年間 3 回の定期テスト（期末・学年末）・ノート・課題提出 出席日数や授業態度を総合して評価します。
教科担任より メッセージ	毎時間日々の糧を通して、自分自身を振り返っていきます。「調身・調息・調心」。しっかりと心を落ち着けて参加してください。毎時間、みなさんにいろいろなことを考えていただきます。先生が授業で話したことや話を聞いて感じたことを自由にノートに控えるようにしてください。気づきを大切に、自らの築きにしましょう。
準備物等	礼拝セット（聖典聖歌・日々の糧・念珠）

年間授業計画案

時期	学習内容
1 学期	オリエンテーション 第 4 章 親鸞聖人の生涯（教えと人生） 鎌倉時代に起こった宗派として親鸞聖人の浄土真宗があります。親鸞聖人の生涯を学ぶ中で、私たちが生きるヒントを学びます。 第 2 節 法難と伝道 1 念仏弾圧 2 非僧非俗

期末考查	3 愚禿の内省 4 結婚 5 関東への移住 6 生きた伝道 第3節 帰洛と晩年 1 親鸞聖人の帰洛 2 晩年の生活 3 親鸞聖人の往生 4 廟堂の建立 5 見真大師 6 報恩講
2 学期	第5章 念仏の教え 第5章では聖人の説かれた「念仏」の教えの内容について学びます。「阿弥陀仏」、 「他力本願」等、私たちが救われていく道を学びます。 第1節 阿弥陀仏の本願 第2節 他力回向 第3節 信心と称名 仏教について 仏教（古代インドの思想・釈尊の教え・仏教伝来） 仏教思想（日本仏教の思想 聖徳太子～奈良・最澄・空海・鎌倉仏教）
3 学期	生命倫理について 生命倫理の問題 ・科学技術と生命倫理 ・遺伝子の操作 ・生殖医療の課題 ・脳死と臓器移植 ・尊厳死と安楽死 まとめ

平成 29 年度 相愛高等学校 3 年 普通科特進コース シラバス

教科	科目	週時数	年間予定時数	選択等	担当教員
公民	政治・経済	2	70	必修	米田 郁雄

到達目標等

到達目標	政治・経済に関する知識を身につけ、センター試験での得点に結びつけるとともに、現代社会の基本的な問題について、主体的に考え公正に判断する力や人間としての在り方生き方について考える力の基礎を養う。
教科書	高校政治経済（実教出版）
副教材	高校政治経済演習ノート（実教出版） ウィニングコンパス倫理・政経／現社の整理と演習 2016（とうほう） 新政治・経済資料（実教出版）
評価方法	定期テスト、宿題テスト、小テスト、提出物、授業態度などを総合して評価する。
教科担任より メッセージ	授業内容をしっかりと理解し、わからない所があれば必ず質問すること。 新聞やニュース番組を見るようにし、時事問題に興味を持つこと。
準備物等	教科書、副教材、各種プリント等

年間授業計画案

時期	学習内容
1 学期 中間考査 期末考査	民主政治の基本原理、日本国憲法の基本的性格 日本の政治機構、現代日本の政治、現代の国際政治
2 学期 中間考査 期末考査	現代の国際政治、経済社会の変容、現代経済のしくみ 現代経済と福祉の向上、世界経済と日本
3 学期	センター試験対策問題演習 ※各单元ごとに、センター試験に対応した問題演習を随時実施 ※その他、ポイント整理、センター試験形式の実践的問題演習等を実施

平成 29 年度 相愛高等学校 3 年 普通科特進コース シラバス

教科	科目	週時数	年間予定時数	選択等	担当教員
数学	数学演習 I	4	140	必修	玉城 真巳

到達目標等

到達目標	数学 I、A、II、B の内容について、演習を通じて深く理解する。 数学の学習を通して、論理的な思考力を高める。
教科書	高等学校数学 I、A、II、B（数研出版）
副教材	白チャート数学 I、A、II、B（数研出版） 文系の数学重要事項完全習得編（河合出版） 数学 I A + II B プレノート（数研出版）
評価方法	宿題テスト、定期考査、平常点を総合的に評価する。
教科担任より メッセージ	論理的な思考力を養えば、少ない知識と経験でも多くの困難な問題を解決できるようになります。数学の学習を通して、論理的な思考を身に付けていきましょう。
準備物等	教科書、副教材、ノート

年間授業計画案

時期	学習内容
1 学期中間	数と式、2 次関数、三角比、データの分析、集合と論理、場合の数の演習
1 学期期末	確率、式と証明、微分積分、ベクトルの演習
夏期講習	図形の性質、統計の演習
2 学期中間	図形と式、三角関数、指数対数の演習
2 学期期末	センター演習
冬期講習	センター演習
3 学期	志望大学別演習

平成 29 年度 相愛高等学校 3 年 普通科特進コース シラバス

教科	科目	週時数	年間予定時数	選択等	担当教員
保健体育	体育	3	105	必修	小林 博則 四宮 友加里 堀 祐輔

到達目標等

到達目標	心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって計画的に運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てる。
教科書	なし
副教材	アクティブスポーツ（大修館）
評価方法	毎時間評価を行う・学期に数回実技技能テストを行う。 授業に参加する態度や安全に注意をしているかなどを総合的に評価する。また、長期の見学者については副教材を使い、レポートを提出させることによる評価をする。
教科担任より メッセージ	運動に苦手意識のある生徒でも、いろんなスポーツを積極的に取り組んでみてください。スポーツの魅力、スポーツを行う楽しさが自ずと体感出来るはずです。
準備物等	制定品の体操服、運動靴

年間授業計画案

時期	学習内容
第 1 学期 期末考査	集団行動・ラジオ体操・陸上競技・筋力トレーニング ダンス・フットサル・バレーボール
第 2 学期 期末考査	バドミントン・平均台・バスケットボール・トレーニング
第 3 学期 期末考査	バドミントン

平成 29 年度 相愛高等学校 3 年 普通科特進コース シラバス

教科	科目	週時数	年間予定時数	選択等	担当教員
外国語 英語	コミュニケーション英語Ⅲ	5	175	必修	佐藤 加奈子

到達目標等

到達目標	2 年間で培ってきた文章読解力に更なる磨きをかける。また、難関大学の難読長文にもひるむことなく取り組める力を養う。時間内にじっくり丁寧にかつ素早く解く練習をするとともに、精読を通じて英語の総合力を養う。
教科書	Grove English Communication III（文英堂）
副教材	Make Your Ascent to Better English Reading（数研出版） CLOVER 英文法・語法ランダム演習入試標準編、発展編（数研出版） 頻出英語整序問題 850（桐原書店） TARGET1900（旺文社）
評価方法	日頃の小テストの結果、課題の提出状況、授業時の姿勢などを含めた平常点と、中間・期末考査の点数とを総合的に評価する。
教科担任より メッセージ	英語を制する者は受験を制する。長文を制する者は英語を制する。毎日読む習慣を続け、英語を武器として使えるように。
準備物等	副教材、ノート、辞書

年間授業計画案

時期	学習内容
1 学期	Lesson1~15 の奇数番号、CLOVER 標準編
中間考査	Lesson1、3、5、7 CLOVER1、3、5、7
期末考査	Lesson9、11、13、15 CLOVER9、11、13、15
2 学期	Lesson16~20、CLOVER 発展編、入試対策問題
中間考査	CLOVER1、3、5、7、実力問題
期末考査	CLOVER9、11、13、15、実力問題
3 学期	入試過去問対策 【備考】 ・小テストとして英語整序問題・TARGET1900 を毎日行い、基礎力を高める。 ・英検、各種模試対策はその都度おこなうものとする。 *尚、英語表現Ⅱの授業も分け隔てなく並行して行います。

平成 29 年度 相愛高等学校 3 年 普通科特進コース シラバス

教科	科目	週時数	年間予定時数	選択等	担当教員
外国語 英語	英語表現Ⅱ	5	175	必修	佐藤 加奈子

到達目標等

到達目標	2 年間で培ってきた文章読解力に更なる磨きをかける。また、難関大学の難読長文にもひるむことなく取り組める力を養う。時間内にじっくり丁寧にかつ素早く解く練習をひたすらする。精読することにより、英語の総合的力を養う。
教科書	Grove English Communication Ⅲ（文英堂）
副教材	Make Your Ascent to Better English Reading（数研出版） CLOVER 英文法・語法ランダム演習入試標準編、発展編（数研出版） 英語リスニングプレート（数研出版） 頻出英語整序問題 850（桐原書店） TARGET1900（旺文社）
評価方法	日頃の小テストの結果、課題の提出状況、授業時の姿勢などを含めた平常点と、中間・期末考査の点数とを総合的に評価する。
教科担任より メッセージ	英語を制する者は受験を制する。長文を制する者は英語を制する。毎日読む習慣を続け、英語を武器として使えるように。
準備物等	副教材、ノート、辞書

年間授業計画案

時期	学習内容
1 学期	Lesson1~15 の偶数番号、CLOVER 標準編
中間考査	Lesson2、4、6、8 CLOVER2、4、6、8
期末考査	Lesson10、12、14 CLOVER10、12、14
2 学期	Lesson16~20、CLOVER 発展編、入試対策問題
中間考査	CLOVER2、4、6、8、実力問題
期末考査	CLOVER10、12、14、実力問題
3 学期	入試過去問対策 【備考】 ・小テストで英語整序・TARGET1900、リスニング練習は毎日行い基礎力を高める。 ・英検、各種模試対策はその都度おこなうものとする。 *尚、コミュニケーション英語Ⅲの授業も分け隔てなく並行して行います。

平成 29 年度 相愛高等学校 3 年 普通科特進コース シラバス

教科	科目	週時数	年間予定時数	選択等	担当教員
総合学習	當相敬愛	1	35	必修	学年団・他

到達目標等

到達目標	建学の精神である「當相敬愛」を学び、実践する。
教科書	日々の糧、念珠、聖典・聖歌集など
副教材	
評価方法	講堂・教室礼拝、日々の活動の中で評価する。 週 1 回の講堂礼拝をはじめ、様々な宗教法要に参加し、命の大切さや他人を思いやり、自分をも大切にする心を育むことができたか。
教科担任より メッセージ	
準備物等	日々の糧、念珠、聖典・聖歌集など その他、別途指示する。

年間授業計画案

時期	学習内容
通年	講堂礼拝 週 1 回 8 時 25 分～8 時 55 分 教室礼拝 礼拝、校長・学年教員からの法話など 講堂礼拝日以外、8 時 30 分～45 分 毎日、15 時 20 分～30 分 礼拝、日々の糧に基づく学年教員からの話など
4 月	花まつり法要：お釈迦様の生誕を祝い、建学の精神にふれる。
5 月	親鸞聖人降誕会法要：親鸞聖人の生誕を祝い、建学の精神にふれる。
7 月	清掃活動
9 月	彼岸会法要
10 月	コーラスコンクール 建学の精神に基づき、活動に取り組む。
12 月	成道会法要：お釈迦様の成道を記念し、建学の精神について考える。 清掃活動
1 月	親鸞聖人御正忌法要：法要を通じ、建学の精神について理解を深める。

2 月	涅槃会法要：法要を通じ、建学の精神について理解を深める。 清掃活動
-----	--------------------------------------

平成 29 年度 相愛高等学校 3 年 普通科特進コース シラバス

教科	科目	週時数	年間予定時数	選択等	担当教員
国語	現代文 B	4	140	文系必修	岸本 由樹子

到達目標等

到達目標	今までで培われてきた能力を生かしていくと共に、理解力や表現力、思考力を更に伸ばしていく。また、言い回しや意味についても意識し、積極的な言語感覚の育成を目指す。評論、小説などの読解で、自ら論理的に読むことができる力を身に付けることを目標に、模試や入試対策として、実際の過去問や各大学過去問に触れ、問題に慣れると同時に、更なる読解能力の育成を目指す。また、AO 入試や推薦試験にも対応できるよう論理的な小論文を書くことができるようにもしていく。
教科書	「現代文 B 下巻」(大修館書店)
副教材	「ジャンプアップ 高校漢字問題集」(東京書籍) 「新版二訂 必携国語」(第一学習社) 「センター試験対策問題集」 「センター試験直前対策問題集」(河合出版)
評価方法	定期考査を中心に、小テスト、提出物、宿題考査、授業態度等、総合的に評価する。
教科担任よりメッセージ	今まで身につけてきた漢字力・語彙力を完成させ、受験に備えましょう。また、適宜一般試験の記述対策や小論文対策も行っていきます。言葉ひとつひとつの働きや意味を理解し、論理的に読んでいけるようにしましょう。
準備物等	教科書、ノート、辞書。その他、適宜指示します。

年間授業計画案

時期	学習内容
1 学期 中間考査 期末考査	問題演習、模試対策・小論文対策は随時行います。 「猫は後悔するか 野矢茂樹」 「離さない 川上弘美」 「こころは見える? 鷺田清一」 「檸檬 梶井基次郎」
2 学期 中間考査 期末考査	「舞姫 森鴎外」 センター試験対策、及び私大過去問
3 学期	センター対策・私大対策(個別対応)

平成 29 年度 相愛高等学校 3 年 普通科特進コース シラバス

教科	科目	週時数	年間予定時数	選択等	担当教員
国語	古典 B	5	175	文系必修	太田 菜美

到達目標等

到達目標	二年次までに学習した古典文法、漢文句法の復習、基礎の定着を図ると共に、文章を読み進めるのに必要な語彙力を身につけ、古文・漢文の読解力を育てる。まぎらわしい古典語の識別のポイントや、助動詞の意味の見分けなど、現代語訳に必須の知識をつける。 また、センター・各種模試・二次試験の過去問を中心に、試験時におけるポイントを絞った読解、問題傾向の把握、時間配分等を中心に自身の現在の実力を常に把握しつつ、「試験」そのものへ慣れ、着実に実力をつけることを目指す。
教科書	「精選 古典 改訂版」 (大修館書店)
副教材	「センター試験対策問題集」、「センター試験直前対策問題集」(河合出版) 「解釈のための必携古典文法 改訂版」(中央図書) 「改訂版 常用国語便覧」(浜島書店)、「重点整理 新・国文学史ノート」(日栄社) 「文脈で学ぶ 漢文句形とキーワード」(Z 会出版) 適宜プリントを配布する。
評価方法	定期考査を中心に、小テスト、提出物、宿題考査、授業態度等を総合的に評価する。
教科担任よりメッセージ	高校三年間の総復習として、また、受験に向けた最終段階として、古文・漢文ともにセンター・二次双方の対策をしつつも、古典文学そのものへの興味・関心を忘れずに、ひとつひとつ丁寧に読み進めていきましょう。
準備物等	教科書、副教材、ノート、辞書(電子辞書可) など。

年間授業計画案

時期	学習内容
1 学期	『センター試験対策問題集』
中間考査	問題演習 (記述模試対策・センター模試対策)
期末考査	教科書『枕草子』
2 学期	問題演習 (センター模試対策)
中間考査	『源氏物語』
期末考査	『センター試験対策問題集』『論語』『史記』 漢詩

3 学期	センター試験対策、私大、国公立対策
------	-------------------

平成 29 年度 相愛高等学校 3 年 普通科特進コース シラバス

教科	科目	週時数	年間予定時数	選択等	担当教員
地理歴史	世界史 B	5	175	文系選択	米田 郁雄

到達目標等

到達目標	世界の歴史の大きな枠組みと流れを、我が国の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。
教科書	『詳説世界史 B』 山川出版社
副教材	『ニューステージ世界史詳覧』 浜島書店 『詳説世界史整理ノート』 山川出版社 『チェック&演習 世界史 B』 数研出版
評価方法	定期テストを中心に、宿題テスト、小テスト、ノート・プリント等の提出物、授業態度などを総合して評価する。
教科担任よりメッセージ	世界史学習の総仕上げです。わからないところは必ず質問し、問題演習で知識を確実なものにしていきましょう。
準備物等	教科書、副教材、ノート、問題プリント等

年間授業計画案

時期	学習内容
1 学期	アジア諸地域の動揺
中間考査	オスマン帝国の動揺、南・東南アジアの植民地化、東アジアの激動
	帝国主義とアジアの民族運動
	帝国主義の展開
期末考査	世界分割と列強の対立
	二つの世界大戦
	第一次世界大戦、ロシア革命、ヴェルサイユ体制、
	アジア・アフリカの民族運動、世界恐慌、
2 学期	ファシズムの台頭と第二次世界大戦
中間考査	冷戦と第三世界の独立
期末考査	現在の世界
	センター対策及び、各大学過去問演習
3 学期	センター対策及び、各大学過去問演習

平成 29 年度 相愛高等学校 3 年 普通科特進コース シラバス

教科	科目	週時数	年間予定時数	選択等	担当教員
地理歴史	日本史 B	5	175	文系選択	木岡 義人

到達目標等

到達目標	我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる人としての自覚と資質を養う。
教科書	『詳説日本史 B』 山川出版社
副教材	『新編日本史図表』 第一学習社 『史料による日本史』 山川出版社
評価方法	①定期考査、②平常点（復習テスト、宿題テスト、出欠、提出物、授業態度など）をもとに総合的に評価する。
教科担任よりメッセージ	歴史は暗記科目ではありません。政治史、社会経済史、対外関係史、文化史それぞれにとっても興味深い内容があります。理解するという姿勢を持てば知識は定着します。その上で毎週の復習テストに合格し、全国模試さらにその先にある大学受験に臨みましょう。
準備物等	教科書、副教材、ノート

年間授業計画案

時期	学習内容
1 学期	近代国家の成立
中間考査	開国と幕末の動乱、明治維新と富国強兵、立憲国家の成立と日清戦争
期末考査	日露戦争と国際関係、近代産業の発展、近代文化の発達
2 学期	近代日本とアジア
中間考査	第一次世界大戦と日本、ワシントン体制、市民文化、恐慌の時代 軍部の台頭、第二次世界大戦
期末考査	占領下の日本 占領と改革、冷戦の開始と講和、 高度成長の時代 55 年体制、経済復興から高度成長へ 激動する世界と日本 経済大国への道、冷戦終結と日本社会の動揺
3 学期	センター対策、私立大学・国公立 2 次対策

平成 29 年度 相愛高等学校 3 年 普通科特進コース シラバス

教科	科目	週時数	年間予定時数	選択等	担当教員
理科	理科基礎演習	3	105	文系必修	谷村 泰行 尾崎 淳

到達目標等

到達目標	自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な自然観を育成する。 センター試験に対応できるように理論を理解した上で過去の問題、模擬試験の問題演習を行う。
教科書	
副教材	チェック&演習化学基礎(数研出版) チェック&演習生物基礎(数研出版)
評価方法	宿題テスト、ノート、授業態度、定期考査を総合的に評価する。
教科担任よりメッセージ	しっかりと基本的な理論を学習し受験に対応できる応用力を身につける。
準備物等	教科書、問題集、ノート、プリント

年間授業計画案

時期	学習内容	
1 学期	<生物分野>	<化学分野>
中間考査	生物の多様性と生態系	物質の構成と化学結合 物質の構成・結合
期末考査	生物基礎の復習と演習(思考・考察問題) センター試験対策演習	物質の変化 物質量・酸と塩基・酸化と還元
2 学期		
中間考査	生物基礎の復習と演習(知識問題) センター試験対策演習	化学基礎の復習と演習 センター試験対策演習
期末考査	生物基礎の復習と演習 センター試験対策演習	化学基礎の復習と演習 センター試験対策演習
3 学期	センター試験対策演習	センター試験対策演習

平成 29 年度 相愛高等学校 3 年 普通科特進コース シラバス

教科	科目	週時数	年間予定時数	選択等	担当教員
国語	現代文 B	2	70	文系必修	岸本 由樹子

到達目標等

到達目標	今までで培われてきた能力を生かしていくと共に、理解力や表現力、思考力を更に伸ばしていく。また、言い回しや意味についても意識し、積極的な言語感覚の育成を目指す。評論、小説などの読解で、自ら論理的に読むことができる力を身に付けることを目標に、模試や入試対策として、実際の過去問や各大学過去問に触れ、問題に慣れると同時に、更なる読解能力の育成を目指す。また、AO 入試や推薦試験にも対応できるよう論理的な小論文を書くことができるようにもしていく。
教科書	「現代文 B 下巻」(大修館書店)
副教材	「新版二訂 必携国語」(第一学習社) 「センター試験対策問題集」 「センター試験直前対策問題集」(河合出版)
評価方法	定期考査を中心に、小テスト、提出物、宿題考査、授業態度等、総合的に評価する。
教科担任より メッセージ	受験は人生においてとても大きな出来事ですが、ゴールではなく、スタートだと思います。国語は、すぐに結果が出るものではありません。気長にこつこつ取り組んでこそです。勉強していく中で、知識不足の自己に嘆き悲しむこともあると思いますが、何事も経験です。受験勉強といえど、マイナスなことばかりではありません。勉強していく中で、未知ではなく、既知を増やせるのですから。来春の笑顔のため、後悔なきよう、頑張っていきましょう。
準備物等	教科書、ノート、辞書。その他、適宜指示します。

年間授業計画案

時期	学習内容
1 学期 中間考査 期末考査	問題演習、模試対策・小論文対策は随時行います。 「猫は後悔するか 野矢茂樹」 「離さない 川上弘美」 「こころは見える? 鷺田清一」 「檸檬 梶井基次郎」
2 学期 中間考査 期末考査	「舞姫 森鴎外」 センター試験対策、及び私大過去問

3 学期	センター対策・私大対策（個別対応）
------	-------------------

平成 29 年度 相愛高等学校 3 年 普通科特進コース シラバス

教科	科目	週時数	年間予定時数	選択等	担当教員
国語	古典 B	2	70	理系必修	岸本 由樹子

到達目標等

到達目標	二年次までに学習した古典文法、漢文句法の復習、基礎の定着を図ると共に、文章を読み進めるのに必要な語彙力を身につけ、古文・漢文の読解力を育てる。また、センター・各種模試・二次試験の過去問を中心に、時間配分等を中心に自身の現在の実力を常に把握しつつ、「試験」そのものへ慣れ、着実に実力をつけることを目指す。
教科書	「精選 古典 B」 (大修館書店)
副教材	「センター試験対策問題集」「センター試験直前対策問題集」 (河合出版) 「体系古典文法」 (数研出版) 「改訂版 常用国語便覧」 (浜島書店) 「重点整理 新・国文学史ノート」 (日栄社) 「FORMULA 古典単語 600」 (東進ブックス) 「漢文 句形とキーワード」 (Z会)
評価方法	定期考査を中心に、提出物などを総合的に評価する。
教科担任よりメッセージ	古典文学そのものへの興味・関心を忘れることなく、高校三年間の総復習として、また、受験に向けた最終段階として、センター・二次双方の対策をしながら一つ一つ丁寧に読み進めていきましょう。
準備物等	教科書、副教材、ノート、辞書（電子辞書可）など。

年間授業計画案

時期	学習内容
1 学期 中間考査 期末考査	模試対策は適宜行っていく。 漢文対策プリント 『枕草子』『上にさぶらふ御猫は』、漢文対策プリント
2 学期 中間考査 期末考査	『源氏物語』『須磨』 「センター試験対策問題集」、「センター試験直前対策問題集」
3 学期	センター試験対策、私大、国公立対策

平成 29 年度 相愛高等学校 3 年 普通科特進コース シラバス

教科	科目	週時数	年間予定時数	選択等	担当教員
数学	数学Ⅲ	6	210	理系必修	玉城 真巳

到達目標等

到達目標	複素数平面、式と曲線、関数、極限、微分法、積分法について深く理解する。 数学の学習を通して、論理的な思考力を高める。
教科書	数学Ⅲ（数研出版）
副教材	サクシード数学Ⅲ（数研出版） 白チャート数学Ⅲ（数研出版） チョイス新標準問題集数学Ⅲ（河合出版）
評価方法	宿題テスト、定期考査、平常点を総合的に評価する。
教科担任より メッセージ	論理的な思考力を養えば、少ない知識と経験でも多くの困難な問題を解決できるようになります。数学の学習を通して、論理的な思考を身に付けていきましょう。
準備物等	教科書、副教材、ノート

年間授業計画案

時期	学習内容
1 学期中間	複素数平面、式と曲線、関数、極限の復習
1 学期期末	微分法、微分法の応用の復習
夏期講習	積分法、積分法の応用
2 学期中間	積分法、積分法の応用の復習
2 学期期末	総合演習、センター試験演習
冬期講習	センター試験演習
3 学期	志望大学別演習

平成 29 年度 相愛高等学校 3 年 普通科特進コース シラバス

教科	科目	週時数	年間予定時数	選択等	担当教員
理科	化学	4	140	理系必修	谷村 泰行

到達目標等

到達目標	化学的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。 また、入試に対応できる基礎力・応用力を育成する。
教科書	化学（東京書籍）
副教材	セミナー化学基礎+化学(第一学習社) アクセスノート化学(実教出版) チェック&演習化学基礎(数研出版) 化学重要問題集－化学基礎・化学(数研出版)
評価方法	宿題テスト、ノート、授業態度、定期考査を総合的に評価する。
教科担任より メッセージ	しっかりと基本的な理論を学習し受験に対応できる応用力を身につける。
準備物等	教科書、問題集、ノート、プリント

年間授業計画案

時期	学習内容
1 学期	有機化合物
中間考査	炭化水素、酸素を含む有機化合物、芳香族化合物
期末考査	有機化合物の分離
	高分子化合物
	高分子化合物、天然高分子化合物
2 学期	
中間考査	合成高分子化合物、高分子化合物と人間生活
期末考査	センター対策及び、各大学過去問演習
3 学期	センター対策及び、各大学過去問演習

平成 29 年度 相愛高等学校 3 年 普通科特進コース シラバス

教科	科目	週時数	年間予定時数	選択等	担当教員
理科	生物	3	105	理系必修	尾崎 淳

到達目標等

到達目標	自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な自然観を育成する。 センター試験、国公立 2 次試験に対応できるように理論を理解した上で過去の入試問題、模擬試験の問題演習を行う。
教科書	生物(東京書籍)
副教材	セミナー 生物基礎＋生物(第一学習社) 、 生物重要問題集(数研出版) チェック＆演習 生物(数研出版) 、 フォトサイエンス生物図鑑(数研出版)
評価方法	宿題テスト、ノート、授業態度、定期考査を総合的に評価する。
教科担任よりメッセージ	国公立大学 2 次試験に対応できるよう、しっかりと基本的な理論を学習し、応用力を身につける。
準備物等	教科書、資料集、問題集、ノート、プリント

年間授業計画案

時期	学習内容
1 学期 中間考査 期末考査	動物の発生、動物の発生のしくみ、発生をつかさどる遺伝子 植物の発生、動物の刺激の受容と反応
2 学期 中間考査 期末考査	動物の行動、植物の環境応答 個体群と生物群集、生態系の物質生産とエネルギーの流れ、生態系と生物多様性
3 学期	入試問題演習 (通年)模試、センター試験対策演習

平成 29 年度 相愛高等学校 3 年 普通科専攻選択コース シラバス

教科	科目	週時数	年間予定時数	選択等	担当教員
宗教	宗教	1	35	必修	安藤 千珠

到達目標等

到達目標	宗教に関して単に知識をつめこむのではなく、自ら学び、自ら考える力を育みます。自分自身をしっかりと見つめ直し、より充実した生き方を追及できるように学習します。また、学校生活における生徒間のかかわりの中から、感謝の気持ちと、思いやりの心を身につけ、心豊かな宗教的情操を育むことを目標とします。 3 学年の宗教では、浄土真宗を開かれた宗祖親鸞聖人の生涯を学びます。聖人の生涯ならびに念仏の教えを通じて、人生に対する考え方の中で「生きる意味とその方向性」を見つめ直していきます。
教科書	『見真』
副教材	聖典聖歌・日々の糧
評価方法	年間 3 回の定期テスト（期末・学年末）・ノート・課題提出 出席日数や授業態度を総合して評価します。
教科担任より メッセージ	毎時間日々の糧を通して、自分自身を振り返っていきます。「調身・調息・調心」。しっかりと心を落ち着けて参加してください。毎時間、みなさんにいろいろなことを考えていただきます。先生が授業で話したことや話を聞いて感じたことを自由にノートに控えるようにしてください。気づきを大切に、自らの築きにしましょう。
準備物等	礼拝セット（聖典聖歌・日々の糧・念珠）

年間授業計画案

時期	学習内容
1 学期	オリエンテーション 第 4 章 親鸞聖人の生涯（教えと人生） 鎌倉時代に起こった宗派として親鸞聖人の浄土真宗があります。「聖人の出家」、「比叡山での修行」、「法然上人との出会い」を通じ、親鸞聖人の生き方を学びます。また、聖人の説かれた「念仏」の教えの内容について学びます。「阿弥陀仏」、「他力本願」等、私たちが救われていく道を学びます。 第 1 節 誕生と求道 1 誕生

期末考查	2 親鸞聖人の出家 3 比叡山の修行 4 横川の不断念仏 5 六角堂の参籠 6 吉水入室 7 法然聖人の教え
2 学期 期末考查	第2節 法難と伝道 1 念仏弾圧 2 非僧非俗 3 愚禿の内省 4 結婚 5 関東への移住 6 生きた伝道 第3節 帰洛と晩年 1 親鸞聖人の帰洛 2 晩年の生活 3 親鸞聖人の往生 4 廟堂の建立 5 見真大師 6 報恩講
3 学期	第5章 念仏の教え 第1節 阿弥陀仏の本願 第2節 他力回向 第3節 信心と称名 まとめ

平成 29 年度 相愛高等学校 3 年 普通科専攻選択コース シラバス

教科	科目	週時数	年間予定時数	選択等	担当教員
国語	現代文 B	3	105	必修	牧野 さやか 若生 哲

到達目標等

到達目標	評論や小説、様々な文章を偏りなく読み解くことで、より豊かな感性を磨き上げたい。 また、間近に迫る大学入試に向けて自らの考えをまとめる力も培っていききたい。
教科書	大修館 309 現代文 B(下)
副教材	「必携国語」(第一学習社) 「常用国語便覧」(浜島書店) 「新常用漢字必携パーフェクトクリア」(尚文出版)
評価方法	定期考査を中心に、宿題テスト、小テスト、提出物、授業態度などを総合的に評価する。
教科担任より メッセージ	教科書に書かれているものを読み、筆者の考え方を理解するだけでなく、自分自身の考えを持つことも大切です。
準備物等	ノート、国語辞典（電子辞書も可とします。）

年間授業計画案

時期	学習内容
1 学期 中間考査 期末考査	評論 「贈り物」としてのノブレス・オブリージュ 小説 檸檬 評論 (構造主義導入) 地図の言語と東西南北 評論 からだで味わう動物と情報を味わう人間
2 学期 中間考査 期末考査	〈自己推薦文～AO 対策〉 評論 (心理学・哲学) ころろは見える？ 評論 (メディア論) ネットワーク上のコミュニケーション 評論 (文芸評論) 無常ということ 小説 舞姫
3 学期	評論 (修辞学・文化論) 姿——日本のレトリック 短歌・俳句 評論 (現代歌論) 折々のうた ※ 3 学期は期間が短いためいずれかを補強的に選択して実施する

平成 29 年度 相愛高等学校 3 年 普通科専攻選択コース シラバス

教科	科目	週時数	年間予定時数	選択等	担当教員
国語	古典 B	3	105	必修	太田 栄美 山川 誠 牧野 さやか

到達目標等

到達目標	1・2 年次に学んだ古典の知識を発展させ、古文と漢文を読む能力を養う。 古典作品を読み、物事を更に深く考える力を養う。
教科書	「精選 古典 B」(大修館書店)
副教材	「新・国文学史ノート」(日栄社) 「改訂版 常用国語便覧」(浜島書店)
評価方法	定期考査を中心に、宿題テスト、授業態度、提出物などを総合的に評価する
教科担任より メッセージ	1・2 年次に学んだ知識の確認をしながら進めていきます。疑問点はその日のうちに 質問をして解決するようにしてください。
準備物等	教科書、文法書、ノートは毎回授業に持ってくる。その他の教材については指示 があれば持ってくる。自学のために、古語辞書があるとよい。

年間授業計画案

時期	学習内容
1 学期	大和物語「をばすて」 枕草子「上にさぶらふ御猫は」 平家物語「宇治川の先陣」
2 学期	(漢文) 史伝「荊軻」 蜻蛉日記「町の小路の女」 和泉式部日記「薫る香に」 源氏物語「御法」 無名抄「おもて歌」
3 学期	曾根崎心中「道行」 以上の時間内で、適宜、文語文法の復習を行います。

平成 29 年度 相愛高等学校 3 年 普通科専攻選択コース シラバス

教科	科目	週時数	年間予定時数	選択等	担当教員
国語	国語表現	2	70	必須	牧野 さやか

到達目標等

到達目標	対象を客体化し、そこに自己と社会のつながりや対峙を、論理的思考をもって展開できる能力を養う。情報収集力、また発信力を高めることを目的として、分析、精緻な言語感覚の涵養を行う。コミュニケーション能力の向上を求め、筆録のみならず、プレゼンテーションの多様性を実践する。 ・多角的に物事を捉え、根拠を明確化し考察する能力を育成する。 ・課題に即して意見を表現し、構成する力を養う。
教科書	『楽しく書ける作文・小論文』（桐原書店） 『クリティカル・シンキング アドバンス I』（学研教育出版）
副教材	なし。適宜プリント等を配付。
評価方法	授業時の小論文課題提出や個人の発表ならびに授業についてのコメントなどを平常の課題に対する取り組みとして総合的に評価する。
教科担任よりメッセージ	論理的思考からクリティカルな思考へと展開できるように授業を展開していくが、表現すること、表現されたことを解析する楽しさを味わってもらいたい。物事について副次的意味合いがつかめ、クリティカルな思考を通して、学問や社会においてイノベーションが起こせるような思考を涵養するため、ロールモデルによっていこうとは考えないでほしい。時に、口頭発表や批評するためのコメントカード記入を求める。
準備物等	教科書・辞書・配付プリント等

年間授業計画案

時期	学習内容	
1 学期	(学習課題) 『楽しく書ける作文・小論文』を利用 ・原稿用紙の使い方 ・口語を書き言葉に ・序論、本論の書き方 自己紹介（長所、短所を客観化する） ・自己アピール文の書き方 (指定校推薦、AO、公募推薦にむけて) ・志望理由書の書き方	(学習目標) ・書くことのルールを確認。 ・意見に根拠を述べる方法の確立を促す。 ・自分の長所・短所を客観的に分析し、表現する。 ・社会問題について関心をもち、自分の切り口を明確化しながら多角的に物事を考える姿勢を養う。

2 学期	『クリティカルシンキング アドバンスト I』を利用 ・社会問題について考える (小論文テーマの基本となる情報、環境、医療などを書き慣れる) ・読解要約文型小論文の書き方 ・資料分析型小論文の書き方	・情報を正確に集め、自己の意見の根拠を考える。 ・要約文の基本を練習する。 ・魅力的な論説構築のための視座の多様性を学ぶ。
3 学期	整理と発展学習 自分の進む分野について、多角的に学ぶために、新聞などを利用して、学びの幅を拓ける。	・高校生活、国語表現の集大成として、自己を振り返り、次の進路への目標を把握し具現化する態勢を作る。

平成 29 年度 相愛高等学校 3 年 普通科専攻選択コース シラバス

教科	科目	週時数	年間予定時数	選択等	担当教員
公民	現代社会	3	105	必修	井上 泰朗

到達目標等

到達目標	広い視野に立って、現代の社会について主体的に考察させ、理解を深めさせるとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を育て、民主的、平和的な国家・社会の有為な形成者として必要な公民としての資質を養う。
教科書	『最新現代社会 新訂版』（実教出版）
副教材	『フォーラム 現代社会 2017』（とうほう）
評価方法	定期テスト、宿題テスト、提出物、授業態度などを総合して評価する。
教科担任よりメッセージ	社会人として必要な知識・教養を身につけるチャンスです。 しっかりと修得して、社会人としての土台を築いて下さい。
準備物等	教科書、資料集、ノート

年間授業計画案

時期	学習内容
1 学期	
中間考査	◎現代の経済社会 現代の企業、市場のしくみ、景気変動と政府の役割、金融機関のはたらき
期末考査	◎日本経済の特質と国民生活 日本経済のあゆみ、産業構造の変化、労働問題の改善、社会保障の役割
2 学期	
中間考査	◎日本国憲法の基本的性格 日本国憲法の制定、日本国憲法の基本的人権、平和主義とわが国の安全
期末考査	◎日本の政治機構と政治参加 政治機構と国会、行政と行政機能の拡大、公正な裁判の保障
3 学期	
学年末考査	◎日本の政治機構と政治参加 国民の政治参加と選挙制度、政党と世論 ◎1 年間の総まとめ

平成 29 年度 相愛高等学校 3 年 普通科専攻選択コース シラバス

教科	科目	週時数	年間予定時数	選択等	担当教員
保健体育	体育	3	105	必修	小林 博則 四宮 友加里 堀 祐輔

到達目標等

到達目標	心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって計画的に運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てる。
教科書	なし
副教材	アクティブスポーツ（大修館）
評価方法	毎時間評価を行う・学期に数回実技技能テストを行う。 授業に参加する態度や安全に注意をしているかなどを総合的に評価する。また、長期の見学者については副教材を使い、レポートを提出させることによる評価をする。
教科担任より メッセージ	運動に苦手意識のある生徒でも、いろんなスポーツを積極的に取り組んでみてください。スポーツの魅力、スポーツを行う楽しさが自ずと体感出来るはずです。
準備物等	制定品の体操服、運動靴

年間授業計画案

時期	学習内容
第 1 学期 期末考査	集団行動・ラジオ体操・陸上競技・筋力トレーニング ダンス・フットサル・バレーボール
第 2 学期 期末考査	バドミントン・平均台・バスケットボール・トレーニング
第 3 学期 期末考査	バドミントン

平成 29 年度 相愛高等学校 3 年 普通科専攻選択コース シラバス

教科	科目	週時数	年間予定時数	選択等	担当教員
外国語 英語	コミュニケーション英語Ⅲ	5	175	必修	竹村 友里

到達目標等

到達目標	英語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、情報や考えなどを的確に理解したり伝えたりする能力を養う。
教科書	Grove English Communication III（文英堂）
副教材	Grove English Communication III WORKBOOK（文英堂） 英単語ターゲット 1400（4 訂版）（旺文社）
評価方法	定期考査、宿題テスト、授業内で行う小テスト、朝テスト、提出物、授業態度を総合的に評価する。
教科担任より メッセージ	事前に配付する予習プリントを必ず授業までに完成させておきましょう。精読することよりも今年度は多読と速読、大意をつかむことに重点をおいて指導します。授業中は音読練習やディクテーションなどのペアワークを積極的に行いましょう。限られた時間で効率的に学び、インプットからアウトプットにうまく移行できるよう指導します。主体的に参加し、「価値のある授業」にしていきましょう。
準備物等	教科書、副教材、プリント、辞書

年間授業計画案

時期	学習内容
1 学期 中間考査 期末考査	Lesson1～5 Lesson6～10
2 学期 中間考査 期末考査	Lesson11～15 Lesson16～20
3 学期	Lesson21～24

平成 29 年度 相愛高等学校 3 年 普通科専攻選択コース シラバス

教科	科目	週時数	年間予定時数	選択等	担当教員
外国語 英語	ブラッシュ アップ English	2	70	必修	竹村 友里 遠藤 優子 佐野 裕美 松本 典子

到達目標等

到達目標	英語を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。他国の文化・歴史に触れることで視野を広げる。情報や考えなどを的確に理解したり、適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。英検の目標級に合格しましょう。
教科書	なし
副教材	A 英検準 2 級対策プリント 他 B 英検準 2 級対策プリント 他 C 英検 3 級対策プリント 他 D 英検 3 級対策プリント 他
評価方法	英語検定の結果、小テスト、提出物、授業態度などを総合的に評価する。
教科担任より メッセージ	A 英検に合格できる読解力、リスニング力を身につけましょう。 B 英検合格を目指し、文法の基礎力と応用力を身につけましょう。 C 英検 3 級の頻出単語・頻出熟語を定着させ、確実に目標級に合格する力を磨きましょう。毎回実施する小テストでは 8 割以上の点数を取れるよう、家庭学習をしましょう。 D 英検 3 級合格を目標に、問題を何度も解いて文法や文構造の理解を深めましょう。頻出単語や熟語は、小テストや家庭学習を通して暗記しましょう。
準備物等	副教材、ノート、ファイル、プリント、英和辞典

年間授業計画案

時期	学習内容
1 学期	英語検定団体受験対策、リスニング、英語構文
2 学期	英語検定受験対策、リスニング、英語構文
3 学期	英語検定受験対策、リスニング、英語構文 * 第 1 回英語検定（6 月 2 日）を団体受験します。

平成 29 年度 相愛高等学校 3 年 普通科専攻選択コース シラバス

教科	科目	週時数	年間予定時数	選択等	担当教員
教養	マナー	1	35	必修	花岡 久美

到達目標等

到達目標	マナーの意味を理解し、まわりの人達への「思いやり」の心を育てる。 マナーの必要性を理解し、「気配り」「心配り」ができる女性になる。 好印象を与える為に「表情」「身だしなみ」「挨拶」「立居振舞」「言葉遣い」について実技を取り入れ学習し、基本的なマナーを身につけ、人物評価を重視する面接試験に対応できるようにする。
教科書	なし
副教材	プリント
評価方法	授業態度、提出物、実技に対しての取り組みの姿勢で評価する。
教科担任より メッセージ	授業で学習した事を日常生活の中で実践し、マナーを身につけましょう。 相手に対する「思いやり」を忘れず、「気配り」「心配り」ができる女性になって下さい。
準備物等	筆記具

年間授業計画案

時期	学習内容
1～2 学期	マナーの意味と必要性 第一印象を決める要素 ①相手に好印象を与える表情 ②おしゃれと身だしなみの違い ③相手に伝わる挨拶の仕方 ④美しく見える立居振舞 ⑤立場をわきまえた言葉遣い 自己紹介、自己PRのポイント（人前で話すことに慣れる） 模擬面接（入室～退室）の実施
3 学期	日常生活での一般マナー ①電話対応 ②食事のマナー

	③席次のマナー など
--	------------

平成 29 年度 相愛高等学校 3 年 普通科専攻選択コース シラバス

教科	科目	週時数	年間予定時数	選択等	担当教員
総合学習	當相敬愛	1	35	必修	学年団・他

到達目標等

到達目標	建学の精神である「當相敬愛」を学び、実践する。
教科書	日々の糧、念珠、聖典・聖歌集など
副教材	
評価方法	講堂・教室礼拝、日々の活動の中で評価する。 週 1 回の講堂礼拝をはじめ、様々な宗教法要に参加し、命の大切さや他人を思いやり、自分をも大切にする心を育むことができたか。
教科担任より メッセージ	
準備物等	日々の糧、念珠、聖典・聖歌集など その他、別途指示する。

年間授業計画案

時期	学習内容
通年	講堂礼拝 週 1 回 8 時 25 分～8 時 55 分 教室礼拝 礼拝、校長・学年教員からの法話など 講堂礼拝日以外、8 時 30 分～45 分 毎日、15 時 20 分～30 分 礼拝、日々の糧に基づく学年教員からの話など
4 月	花まつり法要：お釈迦様の生誕を祝い、建学の精神にふれる。
5 月	親鸞聖人降誕会法要：親鸞聖人の生誕を祝い、建学の精神にふれる。
7 月	清掃活動
9 月	彼岸会法要
10 月	コーラスコンクール 建学の精神に基づき、活動に取り組む。
12 月	成道会法要：お釈迦様の成道を記念し、建学の精神について考える。 清掃活動
1 月	親鸞聖人御正忌法要：法要を通じ、建学の精神について理解を深める。

2 月	涅槃会法要：法要を通じ、建学の精神について理解を深める。 清掃活動
-----	--------------------------------------

平成 29 年度 相愛高等学校 3 年 音楽科 シラバス

教科	科目	週時数	年間予定時数	選択等	担当教員
宗教	宗教	1	35	必修	安藤 千珠

到達目標等

到達目標	宗教に関して単に知識をつめこむのではなく、自ら学び、自ら考える力を育みます。自分自身をしっかりと見つめ直し、より充実した生き方を追及できるように学習します。また、学校生活における生徒間のかかわりの中から、感謝の気持ちと、思いやりの心を身につけ、心豊かな宗教的情操を育むことを目標とします。 3 学年の宗教では、浄土真宗を開かれた宗祖親鸞聖人の生涯を学びます。聖人の生涯ならびに念仏の教えを通じて、人生に対する考え方の中で「生きる意味とその方向性」を見つめ直していきます。
教科書	『見真』
副教材	聖典聖歌・日々の糧
評価方法	年間 3 回の定期テスト（期末・学年末）・ノート・課題提出 出席日数や授業態度を総合して評価します。
教科担任より メッセージ	毎時間日々の糧を通して、自分自身を振り返っていきます。「調身・調息・調心」。しっかりと心を落ち着けて参加してください。毎時間、みなさんにいろいろなことを考えていただきます。先生が授業で話したことや話を聞いて感じたことを自由にノートに控えるようにしてください。気づきを大切に、自らの築きにしましょう。
準備物等	礼拝セット（聖典聖歌・日々の糧・念珠）

年間授業計画案

時期	学習内容
1 学期	オリエンテーション 第 4 章 親鸞聖人の生涯（教えと人生） 鎌倉時代に起こった宗派として親鸞聖人の浄土真宗があります。「聖人の出家」、「比叡山での修行」、「法然上人との出会い」を通じ、親鸞聖人の生き方を学びます。また、聖人の説かれた「念仏」の教えの内容について学びます。「阿弥陀仏」、「他力本願」等、私たちが救われていく道を学びます。 第 1 節 誕生と求道 1 誕生

期末考查	2 親鸞聖人の出家 3 比叡山の修行 4 横川の不断念仏 5 六角堂の参籠 6 吉水入室 7 法然聖人の教え
2 学期 期末考查	第2節 法難と伝道 1 念仏弾圧 2 非僧非俗 3 愚禿の内省 4 結婚 5 関東への移住 6 生きた伝道 第3節 帰洛と晩年 1 親鸞聖人の帰洛 2 晩年の生活 3 親鸞聖人の往生 4 廟堂の建立 5 見真大師 6 報恩講
3 学期	第5章 念仏の教え 第1節 阿弥陀仏の本願 第2節 他力回向 第3節 信心と称名 まとめ

平成 29 年度 相愛高等学校 3 年 音楽科 シラバス

教科	科目	週時数	年間予定時数	選択等	担当教員
国語	現代文 B	3	105	必修	牧野 さやか

到達目標等

到達目標	評論や小説、様々な文章を偏りなく読み解くことで、より豊かな感性を磨き上げたい。 また、間近に迫る大学入試に向けて自らの考えをまとめる力も培っていききたい。
教科書	大修館 309 現代文 B(下)
副教材	「必携国語」(第一学習社) 「常用国語便覧」(浜島書店) 「新常用漢字必携パーフェクトクリア」(尚文出版)
評価方法	定期考査を中心に、宿題テスト、小テスト、提出物、授業態度などを総合的に評価する。
教科担任よりメッセージ	教科書に書かれているものを読み、筆者の考え方を理解するだけでなく、自分自身の考えを持つことも大切です。
準備物等	ノート、国語辞典（電子辞書も可。）

年間授業計画案

時期	学習内容
1 学期	評論 「贈り物」としてのノブレス・オブリージュ
中間考査	小説 檸檬
期末考査	評論 (構造主義導入) 地図の言語と東西南北 評論 からだで味わう動物と情報を味わう人間
2 学期	〈自己推薦文～AO 対策〉
中間考査	評論 (心理学・哲学) ころろは見える？
期末考査	評論 (メディア論) ネットワーク上のコミュニケーション 評論 (文芸評論) 無常ということ 小説 舞姫
3 学期	評論 (修辞学・文化論) 姿——日本のレトリック 短歌・俳句 評論 (現代歌論) 折々のうた ※ 3 学期は期間が短いためいずれかを補強的に選択して実施する

平成 28 年度 相愛高等学校 3 年 音楽科 シラバス

教科	科目	週時数	年間予定時数	選択等	担当教員
国語	古典 B	3	105	必修	安藤 伶

到達目標等

到達目標	古文、漢文を読む能力を養い、優れた古典に触れることで、理解や感心を深めさせ、今後の人生を豊かにさせることを目標とする。 文語文法を理解させ、古典の言葉を身につけさせることにより、文を深く理解させるための礎としたい。古典に今後とも触れる機会が増えるように導きたい
教科書	「精選 古典 B」(大修館書店)
副教材	「読解をたいせつにする 体系古典文法」(数研出版) 「入試に出る 古文単語 300」(旺文社) 「重点整理 新・国文学史ノート」(日栄社)
評価方法	定期考査を中心に、宿題テスト、授業態度、提出物などを総合的に評価する
教科担任よりメッセージ	1, 2 年で学んだ古典の知識を基礎に、日本文学の宝である多くの作品を扱い、古典への興味が深まる授業を行い、興味を喚起したいと思っています。大学受験のみならず考究する力も身につけてほしいです。その点、文法理解は作品読解の基礎力となりますので、しっかり押さえていきたいと思っています。
準備物等	1, 2 年で学んだ古典の知識を基礎に、日本文学の宝である多くの作品を扱い、古典への興味が深まる授業を行い、興味を喚起したいと思っています。大学受験のみならず考究する力も身につけてほしいです。その点、文法理解は作品読解の基礎力となりますので、しっかり押さえていきたいと思っています。

年間授業計画案

時期	学習内容
1 学期	大和物語「をばすて」 枕草子「上にさぶらふ御猫は」 平家物語「宇治川の先陣」 (漢文) 史記「荊軻」
2 学期	蜻蛉日記「町の小路の女」 源氏物語「御法」 無名抄「おもて歌」
3 学期	曾根崎心中「道行」 以上の時間中で、適宜文語文法の復習を行います。

平成 29 年度 相愛高等学校 3 年 音楽科 シラバス

教科	科目	週時数	年間予定時数	選択等	担当教員
公民	現代社会	3	105	必修	井上 泰朗

到達目標等

到達目標	広い視野に立って、現代の社会について主体的に考察させ、理解を深めさせるとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を育て、民主的、平和的な国家・社会の有為な形成者として必要な公民としての資質を養う。
教科書	『最新現代社会 新訂版』（実教出版）
副教材	『フォーラム 現代社会 2017』（とうほう）
評価方法	定期テスト、宿題テスト、提出物、授業態度などを総合して評価する。
教科担任よりメッセージ	社会人として必要な知識・教養を身につけるチャンスです。 しっかりと修得して、社会人としての土台を築いて下さい。
準備物等	教科書、資料集、ノート

年間授業計画案

時期	学習内容
1 学期	
中間考査	◎現代の経済社会 現代の企業、市場のしくみ、景気変動と政府の役割、金融機関のはたらき
期末考査	◎日本経済の特質と国民生活 日本経済のあゆみ、産業構造の変化、労働問題の改善、社会保障の役割
2 学期	
中間考査	◎日本国憲法の基本的性格 日本国憲法の制定、日本国憲法の基本的人権、平和主義とわが国の安全
期末考査	◎日本の政治機構と政治参加 政治機構と国会、行政と行政機能の拡大、公正な裁判の保障
3 学期	
学年末考査	◎日本の政治機構と政治参加 国民の政治参加と選挙制度、政党と世論 ◎1 年間の総まとめ

平成 29 年度 相愛高等学校 3 年 音楽科 シラバス

教科	科目	週時数	年間予定時数	選択等	担当教員
保健体育	体育	3	105	必修	小林 博則 四宮 友加里 堀 祐輔

到達目標等

到達目標	心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって計画的に運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てる。
教科書	なし
副教材	アクティブスポーツ（大修館）
評価方法	毎時間評価を行う・学期に数回実技技能テストを行う。 授業に参加する態度や安全に注意をしているかなどを総合的に評価をする。また、長期の見学者については副教材を使い、レポートを提出させることによる評価をする。
教科担任よりメッセージ	運動に苦手意識のある生徒でも、いろんなスポーツを積極的に取り組んでみてください。スポーツの魅力、スポーツを行う楽しさが自ずと体感出来るはずです。
準備物等	制定品の体操服、運動靴

年間授業計画案

時期	学習内容
第 1 学期 期末考査	集団行動・ラジオ体操・陸上競技・筋力トレーニング ダンス・フットサル・ソフトバレーボール
第 2 学期 期末考査	バドミントン・平均台・トレーニング
第 3 学期 期末考査	バドミントン

平成 29 年度 相愛高等学校 3 年 音楽科 シラバス

教科	科目	週時数	年間予定時数	選択等	担当教員
外国語 英語	コミュニケーション英語Ⅲ	5	175	必修	松本 典子

到達目標等

到達目標	英語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、情報や考えなどを的確に理解したり伝えたりする能力を養う。
教科書	Grove English Communication III（文英堂）
副教材	Grove English Communication III WORKBOOK（文英堂） 英単語ターゲット 1400（4 訂版）（旺文社）
評価方法	定期考査、宿題テスト、授業内で行う小テスト、朝テスト、提出物、授業態度を総合的に評価する。
教科担任より メッセージ	必ず事前に配布する予習プリントを授業までに完成させておきましょう。精読することよりも今年度は多読と速読、大意をつかむことに重点をおいて指導します。授業中は音読練習やディクテーションなどのペアワークを積極的に行いましょう。限られた時間で効率的に学び、インプットからアウトプットにうまく移行できるよう指導します。主体的に参加し、「価値のある授業」にしていきましょう。
準備物等	教科書、副教材、プリント、辞書

年間授業計画案

時期	学習内容
1 学期 中間考査 期末考査	Lesson1～5 Lesson6～10
2 学期 中間考査 期末考査	Lesson11～15 Lesson16～20
3 学期	Lesson21～24

平成 29 年度 相愛高等学校 3 年 音楽科 シラバス

教科	科目	週時数	年間予定時数	選択等	担当教員
教養	コンピューター 音楽	1	35	必修	許 真弓

到達目標等

到達目標	コンピューターを使って各自で個性豊かな音楽を表現し楽譜の作成が出来るように進める。 基本的なコンピューター操作の理解から創作上必要な音楽知識(形式、和音など)を学ぶ。作品発表により理解する。
教科書	事前に準備した課題プリント等を使用
副教材	事前に準備した課題プリント・音源等を使用
評価方法	「関心、意欲、態度」「音楽的な感受や表現の工夫」「創造的な表現の技術」「鑑賞能力」の4つの観点より評価する。 評価方法は毎時の授業観察、出欠、コンピューター操作のスキル、データ提出、作品発表、レポート課題提出等による。
教科担任よりメッセージ	楽譜作成、音楽制作をコンピューターを使用して表現することへのチャレンジ精神とそこから生まれる新たな自分の音楽の可能性を見つけてください。
準備物等	日頃から様々な楽曲の音源、楽譜を収集しておく。

年間授業計画案

時期	学習内容
1 学期	コンピューター操作、ソフト操作の理解 音符入力の基本・応用、既存の楽譜入力、音楽保存 file の理解と実行
2 学期	各自で楽譜収集し、自由表現 各自能力に応じてオリジナル曲作曲や楽曲の編曲
3 学期	完成後作品発表 データ提出
備考	各学期、習熟度 完成度により余裕があると判断した場合は、作成した音源を使い映像とのコラボ、ミュージックビデオの制作まで領域を広げることもある。

平成 29 年度 相愛高等学校 3 年 音楽科 シラバス

教科	科目	週時数	年間予定時数	選択等	担当教員
音楽専門	ソルフェージュ I	2	70	必修	谷 恵津子 西村 優子 木村 寿美子 国井 美佐

到達目標等

到達目標	ソルフェージュ力の向上を図る。音感、リズム感等を養い、実技の演奏表現につなげる。
教科書	なし
副教材	なし
評価方法	前期、後期の年 2 回の試験を行う。 旋律、2 声旋律、4 声体和音聴音を 100 点満点で実施
教科担任よりメッセージ	個人のレベルに合わせたグループレッスンを行います。今年度より、国公立、相愛大学奨学生推薦入試にあわせた S クラスを開講。
準備物等	五線のノート

年間授業計画案

時期	学習内容
前期 (4 月～9 月)	- メロディ聴音 高音部譜表、低音部譜表 (ニ長調、変ロ長調、ロ短調、ト短調、変ホ長調、ハ短調) 拍子 4 分の 4 拍子、4 分の 3 拍子、8 分の 6 拍子 - ハーモニー聴音 ニ声旋律聴音 大譜表 (ト長調、ホ短調、ヘ長調、ニ短調) 拍子 4 分の 4 拍子、4 分の 3 拍子、8 分の 6 拍子 四声聴音 大譜表 ハ長調他 密集配置、開離配置 拍子 2 分の 2 拍子
後期 (10 月～3 月)	- メロディ聴音 高音部譜表、低音部譜表、アルト譜表 (イ長調、変ホ長調、ロ短調、ト短調、ハ短調) 拍子 4 分の 4 拍子、4 分の 3 拍子、8 分の 6 拍子 - ハーモニー聴音 ニ声旋律聴音 大譜表 (ニ長調、ロ短調、変ロ長調、ト短調)

	拍子 4 分の 4 拍子、4 分の 3 拍子、8 分の 6 拍子 四声聴音 大譜表 ハ長調他 密集配置・開離配置 拍子 2 分の 2 拍子
--	--

平成 29 年度 相愛高等学校 3 年 音楽科 シラバス

教科	科目	週時数	年間予定時数	選択等	担当教員
音楽	音楽史	1	35	必修	徳岡 麻里

到達目標等

到達目標	ロマン派から近現代の音楽の歴史を深く理解する。
教科書	音楽史＜作曲家とその作品＞千蔵八郎著 教育芸術社
副教材	平凡社 音楽事典
評価方法	授業態度、定期テスト、宿題プリント
教科担任より メッセージ	時代様式や形式をとおして、作曲家独自の特徴や表現を理解して欲しい。
準備物等	教科書、プリント

年間授業計画案

時期	学習内容
1 学期	1 9 世紀ロマン派の作曲家の標題音楽や性格的小品について。 メンデルスゾーン、シューベルト、シューマン、ショパン等
2 学期	国民主義音楽について。 主にロシア五人組を中心。
3 学期	近現代にかけての作曲家とその作品。ドビュッシー、ラベル等

平成 29 年度 相愛高等学校 3 年 音楽科 シラバス

教科	科目	週時数	年間予定時数	選択等	担当教員
音楽専門	ソルフェージュ Ⅱ	1	35	必修	中島 理依子 藤 啓子 滝口 美智世 森本 佳代

到達目標等

到達目標	基礎的なソルフェージュ力の充実を図る。音感、リズム感等を養い、読譜力の向上につなげる。
教科書	コールユーブンゲン（大阪開成館発行）
副教材	視唱ステップアップ（全音楽譜出版社）
評価方法	前期、後期の年 2 回の試験を行う。 コールユーブンゲン、新曲視唱を 100 点満点で実施。
教科担任より メッセージ	個人のレベルに合わせたグループレッスンを行います。不得意な場合も諦めず、続けて努力してみてください。コールユーブンゲンや新曲視唱で歌唱力、音感やリズム感を養ってください。頑張ってください。
準備物等	教科書、副教材

年間授業計画案

時期	学習内容
前期（4 月～9 月）	コールユーブンゲン（No.78～No.86） 新曲視唱（A dur、fis moll、Es dur、c moll） 二声部の視唱、伴奏付視唱（弾き唱い）
後期（10 月～3 月）	コールユーブンゲン（No.87・全巻） 新曲視唱（既習全調） 二声部の視唱、伴奏付視唱（弾き唱い）

平成 29 年度 相愛高等学校 3 年 音楽科 シラバス

教科	科目	週時数	年間予定時数	選択等	担当教員
音楽	音楽理論	2	70	必修	吉澤 ゆかり

到達目標等

到達目標	和声法は属七の和音の完成と借用和音について学ぶ。大学入試に向けて楽典の復習と応用が出来るようにする。
教科書	なし
副教材	プリント等適宜こちらで用意する。
評価方法	定期考査の成績は勿論のこと、出席率・提出物・小テストの成績・授業態度等により総合的に評価する。
教科担任よりメッセージ	2年に引き続き和声法は実習が中心の授業になるので、毎時間真剣に取り組むこと。楽典については、復習にも力を入れるので解らないことを残したままにしないよう取り組んでほしい。
準備物等	和声法は2年に引き続きノート2冊。 楽典は1年の時に取ったノート。

年間授業計画案

時期	学習内容
1 学期 中間考査 期末考査	和声法・属七の和音と借用和音 借用和音の続き・楽典は音程・音階と調
2 学期 中間考査 期末考査	楽典・基本問題を中心に。 楽典・応用問題、大学入試問題の過去の問題に取り組む。
3 学期	楽典のまとめ

平成 29 年度 相愛高等学校 3 年 音楽科 シラバス

教科	科目	週時数	年間予定時数	選択等	担当教員
音楽	鑑賞研究	1	35	必修	徳岡 麻里

到達目標等

到達目標	バロックから近現代の主に管弦楽曲の内容を深く理解する。
教科書	担当の準備した資料
副教材	NHK監修 名曲アルバム
評価方法	鑑賞態度、定期テスト、感想文
教科担任より メッセージ	17世紀から20世紀の代表的な作曲家とその作品の特徴を理解して欲しい。
準備物等	プリント

年間授業計画案

時期	学習内容
1 学期	管弦楽曲、主に交響曲。協奏曲や独奏曲の名演奏。 メンデルスゾーンやブラームス、シューマン、ショパン等。
2 学期	ロシアや東欧の作曲家の管弦楽組曲。 ヴェルディやサン＝サーンスのオペラ。
3 学期	ドビュッシーの印象主義音楽を中心に。

平成 29 年度 相愛高等学校 3 年 音楽科 シラバス

教科	科目	週時数	年間予定時数	選択等	担当教員
総合学習	當相敬愛	1	35	必修	学年団・他

到達目標等

到達目標	建学の精神である「當相敬愛」を学び、実践する。
教科書	日々の糧、念珠、聖典・聖歌集など
副教材	
評価方法	講堂・教室礼拝、日々の活動の中で評価する。 週 1 回の講堂礼拝をはじめ、様々な宗教法要に参加し、命の大切さや他人を思いやり、自分をも大切にする心を育むことができたか。
教科担任より メッセージ	
準備物等	日々の糧、念珠、聖典・聖歌集など その他、別途指示する。

年間授業計画案

時期	学習内容
通年	講堂礼拝 週 1 回 8 時 25 分～8 時 55 分 教室礼拝 礼拝、校長・学年教員からの法話など 講堂礼拝日以外、8 時 30 分～45 分 毎日、15 時 20 分～30 分 礼拝、日々の糧に基づく学年教員からの話など
4 月	花まつり法要：お釈迦様の生誕を祝い、建学の精神にふれる。
5 月	親鸞聖人降誕会法要：親鸞聖人の生誕を祝い、建学の精神にふれる。
7 月	清掃活動
9 月	彼岸会法要
10 月	コーラスコンクール 建学の精神に基づき、活動に取り組む。
12 月	成道会法要：お釈迦様の成道を記念し、建学の精神について考える。 清掃活動
1 月	親鸞聖人御正忌法要：法要を通じ、建学の精神について理解を深める。

2 月	涅槃会法要：法要を通じ、建学の精神について理解を深める。 清掃活動
-----	--------------------------------------